

第2学年 道徳科学習指導案

令和6年 月 日() 校時
小学校 年 組 名
指導者

1 主題名 やさしい人

B-(6) 親切、思いやり 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

2 主題設定の理由

〈ねらいとする道徳的価値〉

望ましい人間関係を構築するためには、互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようにすることが大切である。思いやりとは、相手の立場に立って考えたり、相手の気持ちを想像したりすることを通して、励ましたり助けたりすることである。低学年では、身近にいる様々な人々との触れ合いの中で、相手のことを考え、優しく接することができるようになることが求められる。その結果として相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、これからも親切に接しようとする心情を育てたいと考えた。

〈児童生徒の実態について〉

本学級の児童は、明るく活発で、休み時間には、友達に声をかけ、誘い合って外に出て、仲良く遊んでいる。帰りの会で行っている「きょうのキラキラさん」の発表では、毎日たくさんの児童が友達の良いところを見つけ、その子のとおきの良いところを発表できるようになってきている。また、1年生が入学してからお兄さん、お姉さんとしての意識をもつようにもなった。上級生とも仲良く遊んだり、登校班でお世話になっているお兄さん、お姉さんを慕っていたりと、上級生の優しさを感じて喜ぶ姿も見られる。

アンケートでは、「親切にしてもらったことがあるか。」という問い合わせに対して、29名が「ある」と答えた。一方で、「親切にしたことがあるか。」という問い合わせに対して、「ある」と答えたのは25人だった。日常的に何か困っている友達がいるとすぐに行動に移して助けてあげようとしていることが分かる。しかし、その一方で、自分中心的な考えが先にきてしまい、相手の気持ちを考えない言動をとってしまうことが多い。相手のことを考えて行動し、温かい心で親切にしようとする心情を育てたい。

〈教材について〉

教材名「とくべつな たからもの」出典:光文書院

本教材は、くまが困っているねずみの子に出会い、自分のできることを一生懸命考え実行する話である。自分の拾い集めた宝物を捨て、そのかばんにねずみの子を入れて助け出すくまの姿や、かばんに1つだけ残っていたんぐりを差し出して礼を言うねずみの子の言葉、「これはとくべつなたからもの」と喜ぶくまの姿に、「助けずにはいられない心」や「親切にされた側の感謝の気持ち」「親切でつながる温かい関係」「親切にした側の得も言わぬ達成感」など、親切、思いやりのよさをしみじみ感じることのできる教材である。また、親切にされた側の「感謝」の気持ちについても、併せて考えさせることができる。

4 本時の学習

(1)ねらい

親切にすると互いに温かい心になることが分かり、身近な人に親切にしようとする心情を育てる。

(2)展開

過程	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の意識	指導上の留意点
導入	1 親切について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○親切にしたとき、どんな気持ちになりましたか。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">親切にするって、なんだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○事前アンケートを表にして、課題へつなげる。
展開	2 「とくべつな たからもの」を途中まで読み、話し合う。 最後まで読んで、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ねずみの子を見つけたとき、くまくんはどう思つたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ねずみの子がたいへんだ。かわいそう。 ・早く助けないと。すぐ行くよ。 ○かばんにねずみの子を入れれば、のぼれることに気付いたとき、くまくんはどんなことを考えていたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・宝物を大事にしようと思っていたのに。 ・でも、ねずみくんの命はたった1つしかない。 ○ねずみの子からたった1つのどんぐりを渡されたとき、くまくんはどんな気持ちになったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ねずみくんを助けることができて、ぼくもう嬉しいよ。 ・ぼくのために、ありがとう。ねずみくんが無事で良かったよ。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">親切にするって… あい手を思いやってこうどうすることで、じぶんもあい手も うれしい気持ちになること。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ねずみの子の不安な気持ちにも触れ、助けようとするくまの思いを押さえる。 ○心の数直線を使い、宝物を捨てると決心するまでの揺れ動くくまくんの葛藤を引き出す。 ○どんぐりをもらう場面の役割演技を行い、教師がねずみの子、児童がくまくんの役をする。直前に、ペアで役割演技をさせる。親切にすると、自分も相手もうれしい気持ちになることに気付かせる。
終末	3 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習を通して、思ったことや考えたことを書きましょう。 ・「親切にすると、」に続くように書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生に優しく接している写真を見せて、学んだことと結びつけて、これから自分がさらにできることを考えさせる。

5 評価の観点

- ・親切にすると、自分も相手も嬉しいことについて考えようとしていたか。(ワークシート、発言)
- ・身近な人に温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深めていたか。(ワークシート、発言)